

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第1区分
【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公開番号】特開2004-226417(P2004-226417A)
【公開日】平成16年8月12日(2004.8.12)
【年通号数】公開・登録公報2004-031
【出願番号】特願2004-112591(P2004-112591)
【国際特許分類第7版】
G 0 4 B 19/04
【F I】
G 0 4 B 19/04 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月29日(2005.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

時計の秒針C・分針B・時針Aの長さを、秒針Cよりも分針Bを、分針Bよりも時針Aを長くした針。

時針が一番長く、秒針が一番短く、分針が時針よりも短い針。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】時計の針の長短

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の詳細な説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の詳細な説明】

この発明は、時針を一番長くする事に依り、近眼等目の見えにくい人でも現在何時であるかを適切に、わかりやすく表示するものである。

従来時計の時針は最も短く何時であるかを知るのに不便であった。

又時針と分針を色分けすることにより、時刻を鮮明に見わせる事が出来る。

従来時計、分針が同じ色であると、両針を見間違えやすく、又秒針が一番長いと時針、分針が見つらなかった。

より時計を見やすくする為に、腕時計の時針Dには金色など分針Eには銀色などの色に、秒針Fには白色などにすると効果的である。掛時計等には、遠くから見えやすく子供にもわかりやすいように、時針Gには茶色などを、分針Hには青色などを、秒針1には緑色などにすると良い。